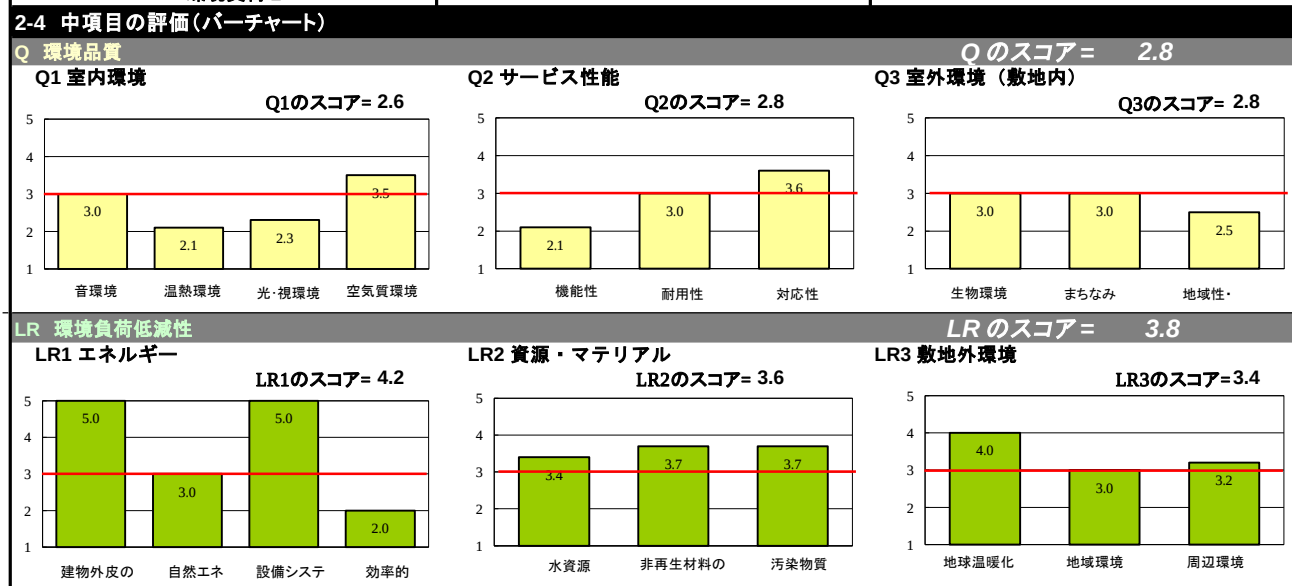
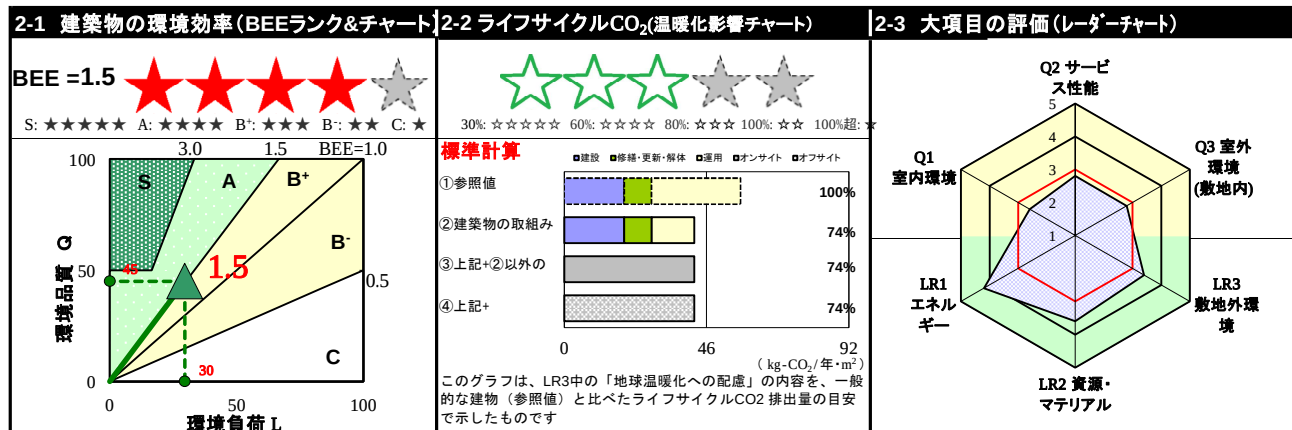


1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	弥刀・ミヨシコーポレーション倉庫	階数	地上4F	
建設地	大阪府八尾市美園町	構造	S造	
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	15 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2025年2月12日	
敷地面積	2,293 m ²	作成者	高松建設株式会社	
建築面積	1,290 m ²	確認日	2025年2月12日	
延床面積	4,665 m ²	確認者	-	



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
・断熱性の高い材料の採用と高効率な設備機器の導入、節水器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。	-	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を使用し、全館禁煙として室内の良好な空気環境の確保を図っている。	・将来の用途変更の可能性等を考慮し、建物の階高、空間の形状・自由さのゆとりを計画している。	-
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・高効率な設備機器を採用し、エネルギーの効率的利用に配慮している。	・O Aフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、省資源化に配慮している。	・燃焼設備を設けず、建物からの大気汚染物質発生に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版		受付番号	R6-変-0073
大阪府の重点評価(結果)		Osakafu-新築・既存 2018V1.0	

【建物概要】	建物名称	弥刀・ミヨシコーポレーション倉庫							
建設地		大阪府八尾市美園町							
用途／区分		工場 事務所							
【評価結果】	CASBEE 総合評価						A		
①	CO2削減						4		
②	みどり・ヒート アイランド対策						3		
③	建物の断熱性						5		
④	エネルギー削減						5		
⑤	自然エネルギー直接利用						—		
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

	エネルギー消費量の報告	
--	-------------	--

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.0	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他		
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		